

第1回 SAKAI CUP

実施報告書



稲葉 充秋

SAKAI CUP 開催概要 大会要項/大会特別規則

1. 大会名：SAKAI CUP
2. 主催：ABCプランニング株式会社
3. 後援：茨城県境町、茨城県自転車競技連盟
4. 協賛：株式会社さかいまちづくり公社
5. お楽しみ企画協賛：citywave Tokyo Sakaimachi、境逸品鶏そば山田屋、BORDERTOWN
森谷農園、KAGECHIYO
6. 協力：JFBF パーク委員会
7. 開催期日：2023年11月19日（日） ※10月15日（日）からの延期開催。
8. 開催場所：境町アーバンスポーツパーク 〒306-0434 茨城県猿島郡境町上小橋 560
9. 実施種目：BMX フリースタイル パーク
10. カテゴリ：大会独自の3つのカテゴリで実施する。カテゴリの選択は任意。
 - ・ビギナークラス（目安：3年未満）
 - ・ミドルクラス（目安：3年以上～5年未満）
 - ・プロクラス（目安：5年以上）
11. 参加定員：各クラス15名まで。全45名。
12. 日程：11月19日（日）
 - 受付：8時半～9時15分
 - 開会式：9時半
 - 午前：各クラス練習 午後：各クラス決勝
13. 競技規則：最新の国際自転車競技連合（UCI）/公益財団法人日本自転車競技連盟（JCF）
競技規則、並びに大会特別規則による。
14. 参加資格：「年齢」「居住地」「ライセンスの有無」は問わない。
15. 申込方法：エントリーフォームによる受付（9月上旬開始予定）
16. 参加料：2,000円 ※但し、別途施設利用料が必要（年パス、月パス利用可）。
17. 表彰：各クラス、1位、2位、3位を表彰する。
18. その他：
 - （1）主催者は参加者に対して、賠償責任保険及び傷害保険への加入を推奨する。
 - （2）大会中の疾病、負傷については、応急処置のほかは参加者の責任とする。
 - （3）参加者は、健康保険証を持参すること。
 - （4）申込書、注意事項等は必要に応じ、随時境町アーバンスポーツパークのホームページにて発表する。郵送での注意事項伝達は行わないので各自注意のこと。
 - （5）参加者が申込フォームに記入した個人情報（氏名、年齢、競技歴など）は、大会に関する諸連絡を行うほか、ポスター、プログラム、エントリーリスト等で掲載する場合や、新聞社などマスコミ関係各社に情報を提供し、新聞等メディアに掲載され

る場合がある。また、大会中の写真が、開催施設の HP や SNS、境町の広報などに掲載される場合がある。

- (6) 本会における肖像権は ABC プランニング株式会社に帰属される。
- (7) タイムテーブル、注意事項等は変更となる場合があり、最新情報はコミュニケとして必要に応じ随時、会場内掲示板への掲載や開催施設の SNS に投稿される。会場アナウンスも併せて行う。
- (8) 医療機関：茨城西南医療センター病院 TEL:0280-87-8111
〒306-0433 茨城県猿島郡境町 2190

19. 会場利用等：

- (1) 大会当日は指定された駐車場を利用してください。施設駐車場以外での駐車は禁止です。駐車場での車中泊などはできません。
- (2) 当施設にはゴミ箱等はありませんので、各自出たゴミ等はお持ち帰りください。
- (3) 施設内限らず施設周辺はすべて禁煙となっております。近隣住民の方々のご理解とご協力を得られるように、参加者の皆様もマナーアップにご協力ください。
- (4) その他、境町アーバンスポーツパークの利用規則に従うこと。

20. ブース出展：大会期間中、出展ブースなど希望がございましたら、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

21. 中止の判断：悪天候の場合は延期。台風の接近など明らかな悪天候が予測される場合は、参加者の安全を優先し、前日までに延期の判断を行う場合があります。大会当日中の天気の回復が見込まれる場合は、大幅なタイムテーブル変更によって開催する場合があります（施設 SNS 等にて随時発表）。

22. 問い合わせ：境町アーバンスポーツパーク受付 TEL：0280-87-5506（BMX 担当）

エントリーリスト

SAKAI CUP (11月19日開催) 出走リスト

2023年11月17日VER

ビギナークラス

| | | 名前 |
|---|----|--------|
| A | 1 | 森谷 隆広 |
| | 2 | 加藤 翔一郎 |
| | 3 | 山本 ひより |
| | 4 | 小林 歩雅 |
| | 5 | 梅林 夢舞 |
| B | 6 | 井手 竜一 |
| | 7 | 尾上 旺 |
| | 8 | 堀口 海 |
| | 9 | 長谷川 晃子 |
| | 10 | 永園 仁朗 |
| C | 11 | 松崎 悠真 |
| | 12 | 平川 煌樹 |
| | 13 | 山口 維吹 |
| | 14 | 染野 琉誠 |
| | 15 | 久保谷 敬介 |
| | 16 | 平川 楓華 |
| | 17 | 赤津 蒼唯 |

ミドルクラス

| | | 名前 |
|---|---|--------|
| A | 1 | 齋木 佑 |
| | 2 | 増井 智秋 |
| | 3 | 伊良部 琉椰 |
| | 4 | 伊良部 琉風 |
| B | 5 | 川上 優 |
| | 6 | キャンセル |
| | 7 | 高橋 寿 |
| | 8 | 長谷川 嵩人 |
| | 9 | 羽山 連哉 |

プロクラス

| | | 名前 |
|---|---|-------|
| A | 1 | 高木 聖雄 |
| | 2 | キャンセル |
| | 3 | 伊藤 大空 |
| | 4 | 伊藤 蒼空 |
| | 5 | 羽山 絆愛 |
| | 6 | 清水 悠琉 |

※各グループごとに練習走行、決勝を行っていきます。

※グループは変更となる場合がありますので、予めご了承ください。

ビギナークラス (目安: BMX 歴 3 年未満) 17 名
 ミドルクラス (目安: BMX 歴 3 年以上 5 年未満) 8 名
 プロクラス (目安: BMX 歴 5 年以上) 5 名
 計 30 名

年齢: 高校生以下 28 名、一般 2 名

居住地: 茨城 7 名、東京 5 名、神奈川 4 名、埼玉 3 名、栃木 1 名、静岡 3 名、愛知 7 名

SNS のアナウンス



境町の宿泊施設利用の促進

写真 (ビギナークラス)

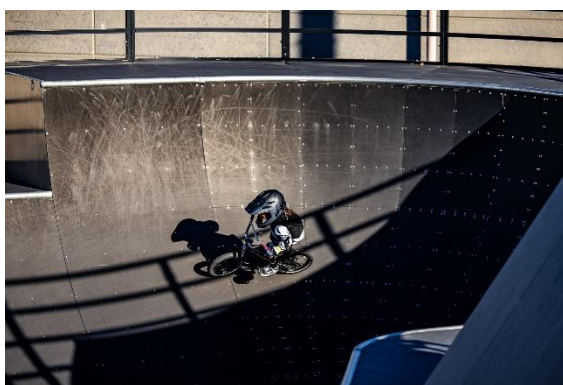
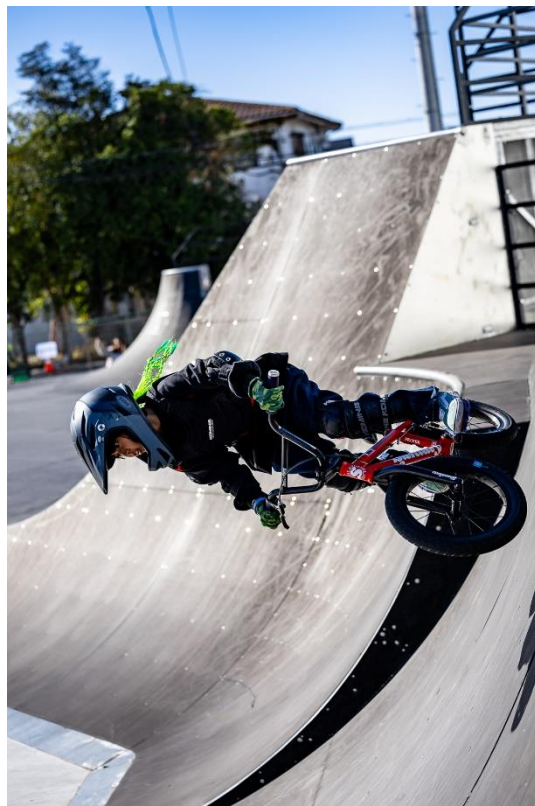
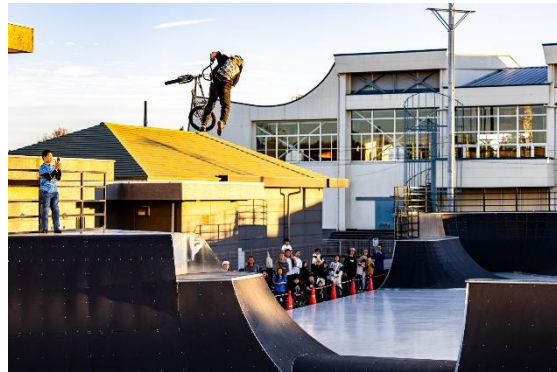


写真 (ミドルクラス)



写真 (プロクラス)



表彰式

各クラス1～3位とベストトリック優勝者には、メダル&表彰状&境町特産品（協賛：株式会社さかいまちづくり公社）を授与。ベスト MC 賞には境町特産品を授与。



ビギナークラス

優勝 梅林 夢舞

2位 尾上 旺

3位 加藤 翔一郎



ミドルクラス

優勝 増井 智秋

2位 川上 優

3位 齋木 佑



プロクラス

優勝 高木 聖雄

2位 伊藤 大空

3位 伊藤 蒼空



ベストトリック賞
優勝 清水 悠琉



ベスト MC 賞
優勝 高橋 丈



中身はせんべいや干し芋などの
境町特産品の詰め合わせ

11袋

お楽しみ抽選会の当選者（くじにて抽選）



citywave ToKyo Sakaicmachi 様の
協賛品を受け取った参加者



BORDERTOWN 様の
協賛品を受け取った参加者



KAGECHIYO 様の
協賛品を受け取った参加者



境逸品鶏そば山田屋様の
協賛品を受け取った参加者



森谷農園様の
協賛品を受け取った参加者

大会全体の写真



各所へ設置した、駐車場への案内表示と注意書き（コース外の BMX 走行禁止など）



観光協会からお借りした、カラーコーンとコーンパー。コース周囲のバリケードに使用。



参加者のケガに対応して下さった判治氏（BMX フリースタイルパークのチーム JAPAN 医療班）



開会式

境町のレッスン生の男女3名（小学生）に、選手宣誓を
してもらい、和やかな雰囲気の中、大会がスタート。



キッチンカーの出店



プロクラスのベストトリック挑戦に盛り上がる参加者たち。



運営スタッフ（ボランティア含む）の皆さん
(DJ、カメラマン、MC、タイムキーパー、表彰サポート)



SAKAI CUP T シャツの抽選に当たった子どもたち。
翌日学校に着ていったお子さんもおられたとのこと。



集合写真撮影後、段ボールに入った森谷農園様からの協賛品「新鮮な野菜」を、参加者みんなで各々袋詰めしてもらい持ち帰っていただいた。森谷氏「こんなたくさん（野菜を）持って帰ってもらえると思っていなかったのびびっくりしました」。参加者「野菜はほんとに助かります！」と、東京・名古屋の方たちは、街中で生活している家庭が多かったことも盛況の要因と思われる。

スタッフ（サポート）メンバー

| | |
|-----------|----------------------|
| ジャッジ（審査員） | 齊藤 誠二、新城 安明、大島 実 |
| タイムキーパー | 白井 伶穂 |
| 表彰お手伝い | 白井 玲恵奈 |
| カメラマン | Freddy Tamashiro |
| MC サポート | 高橋 丈 |
| DJ | DJ Sachi |
| 全体進行 | 稲葉 充秋 |
| 施設管理リーダー | 知念 令子 |
| 施設管理 | 栗原 陽子 |
| 準備・運営協力 | 境町役場地方創生課の方々 |
| 物品貸し出し | 境町観光協会 |
| 地元ボランティア | 中村、榎場、飯田（け）、飯田（あ）、中山 |
| キッチンカー出店 | ヒドケバブ |

地元ボランティアについて

中戸屋酒店の中村氏より、地元サッカークラブのサポーター仲間の方や地元の後輩の方にお声掛けしていただき、地元ボランティアの皆様運営のご協力をいただいた。業務内容は、イス&テーブルの設置、受付補助、道路横断の安全管理、カラーコーン撤収作業、イス&テーブルの撤収とハイエースへの積み込み作業などを依頼。

総括

「第1回 SAKAI CUP」を開催し、30名のBMXライダーの皆さんから参加をいただいた。参加者の居住地の内訳は茨城7名、東京5名、神奈川4名、埼玉3名、愛知7名、栃木1名、静岡3名であり、スポーツを核としたまちづくりを実践する境町において、境町アーバンスポーツパークを拠点とした交流人口の創出に貢献することができた。また、地域の公共施設や企業の方々から多数の支援（協賛品）を賜り、遠方からの参加者の皆様におもてなしの空気感を感じていただけたことも、参加者の皆さんに「また開催して欲しい」との声を多数いただくことができた要因と思われる。

今回、ジャッジ（審査員）の1人としてご協力をいただいた大島実氏（笠間市にて地域おこし協力隊としてBMXを通して地域活性化に取り組まれている）からは、「役場の人たちも現場に足を運んでくれるし、BMXライダー同士がみんな仲のいい雰囲気でもとてもいいパークですね」と、境町全体がアーバンスポーツを応援している空気感を感じていただけた。2022年よりBMXレッスンを開始し、境町のみならず近隣の市町村のレッスン生が現在20名在籍と増えてきており、その中から更にBMXのスキルアップや楽しさを求める子ども（ご家族）たちへ対して2023年よりBMX外部講師レッスン（講師：高木聖雄氏）を定期的に提供してきたことも、大会参加者たちの中にBMXへの情熱や仲間意識の精神を生み出すことができた要因と思われる。高木氏の活動拠点である愛知県の参加者が7名おられたことは、外部講師レッスンの継続によって、境町と愛知県の距離が縮まっていることが伺える。

反省点として、救護スタッフの準備をしていなかったため、応急処置や現場の判断において時間がかかってしまう場面があった。幸い救急車で搬送された選手や骨折などの大きなケガの報告はなかったものの、役場の方に小児の相談ダイヤルを保護者に伝えていただくなど助けていただいた。次回は、救護スタッフ配置の検討、そして転倒やケガが起こった場合の指示系統や連絡系統について事前に打ち合わせを行うようにしたい。もう1点反省として、元々予定していた10月15日（日）開催日が雨天延期となった際に、延期開催日を予め設定していなかったため、参加者や関係スタッフの日程調整にご迷惑をおかけしてしまった。次回は延期開催日も設定したい。ただ、幸いなことに開催が延期されたことによって、境町のレッスン生や愛知県の参加者たちが増えたことも事実である。SNSでの告知や口コミやレッスン生への声掛けが、時間とともに効果が出ることも実感できた。次期開催は2カ月以上前から告知や口コミなどを行っていききたい。

SNSを使った大会告知活動として、参加者のインタビューを編集した動画を全4回投稿し、大会への期待感を高めていった（高木聖雄氏のアイデア）。また、大会当日は選手の走行中に選手のご家族に限りコース内への入場を許可した。参加者の保護者からライディングの動画を撮りたいとの要望が複数寄せられたからである。結果として、大会直後の参加者のSNSで多くの大会動画の投稿とともに、大会開催への感謝の声、そしてコメント欄での参

加者同士のコミュニケーションが多数見られた（情報の即時性）。県外からの参加者が多かった理由として、日頃から施設の SNS を活用した発信が実を結んでいると思われる。

大会後の反響として、境町のレッスン生の中には、大会後に母親に対して「他の習い事を辞めさせて欲しい」と言うほど、大会をきっかけに BMX への情熱が増した子もいる。参加者の叔父にあたる方からは、「あの子があんな堂々と走っているのに感動しました。BMX をやるようになってしっかりしてきている。初心者も上手な子もみんなであのグータッチがかっこいいですね」との感想をいただいた。

2022 年より全 4 回境町アーバンスポーツパークにて開催してきたレッスン生限定の BMX 発表会（参加者約 5～6 名規模）では、初心者の皆さんへ BMX の楽しさや情熱を伝えるには、経験者たちが生み出す期待感や規模感が十分ではなかった可能性が考えられる。どんなスポーツでも、初心者の方たちを巻き込んで現場の熱気を高めるためには、一定数の経験者たちが持ち合わせている経験や情熱そして地域の応援が不可欠である。今後も SAKAI CUP を継続していくことで、将来的には境町から世界で活躍するトップアスリートの輩出に繋がるように取り組んでいきたい。

最後に、大会開催に向けてご協力やご協賛をいただいた関係各社・団体そして企業の皆様、そして不慣れな大会開催にも関わらず、暖かいご支援ご協力をいただいた参加者の皆様に感謝申し上げます。



境町で BMX を始めた子どもたち 3 名と、県外から参加してくれた子どもたち（全国大会出場者）5 名の笑顔。